

農林水産業功労者

部門	氏名（住所）	受賞理由
農産	うめざね かずお 梅實 一夫 （鳥取市 気高町飯里）	【経歴】 H13～現在 気高オーガニック倶楽部代表 H26～H30 鳥取県有機農業推進ネットワーク副会長 R元～R3 鳥取県有機農業推進ネットワーク事務局長 【功績】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気高オーガニック倶楽部を結成し代表（H13～現在）を務め、長きに渡って、地域に有機農業を波及・定着させようと邁進された。 ・ 地域外の農業者に対しても培ってきた技術を惜しみなく紹介し、氏の熱い思いに共感した農業者によって県内他市町に4つの「オーガニック倶楽部」が結成された。 ・ 鳥取県有機農業推進ネットワークの副会長（H26～H30）、事務局長（R1～R3）を勤め、会員相互の技術情報の共有を図るなど、県内有機農業を力強く牽引してきた。
JA 鳥取 県中央会	くりはら たかまさ 栗原 隆政 （倉吉市 鴨河内）	【経歴】 H17.7～H20.4 鳥取中央農業協同組合 参事 H20.4～H22.4 鳥取中央農業協同組合 常務 H22.4～H29.4 鳥取中央農業協同組合 専務 H29.4～R5.4 鳥取中央農業協同組合 組合長 H29.6～R2.6 鳥取県農業協同組合中央会 副会長 R2.6～R5.6 全農鳥取県本部運営委員会 会長 R2.6～現在 鳥取県農業協同組合中央会 会長 R3.6～現在 一般財団法人家の光協会 会長 【功績】 <ul style="list-style-type: none"> ・ JA鳥取中央では、梨新品種の面積拡大や低コストハウスの増設、JA選果場等への作業員確保対策に取り組み、農家の負担軽減に大きく貢献したほか、「大栄西瓜」の地理的表示（GI）取得、広域野菜集荷施設の設置、製氷機導入等によるブロッコリーの品質安定化を図り産地化に取り組んだ。 ・ 「あぐりキッズスクール」では、全国においても、あぐりスクール全国サミット実行委員会世話人を務めるなどし、全国的にも先進的なJAとして、他県の参考となる取り組みを続けた。 ・ JA鳥取県中央会では、県下JAグループの経営基盤化の支援や農政課題に対する要望等について国、県に積極的に提言を行い、県内の農林畜産物の発展について貢献した。また、JAグループ鳥取のトップ広報に初めて取り組み、「食パラダイス鳥取県みらい宣言」として、これまでに7回行い、マスコミとの意見交換や県内農畜産物のPRを行うなど、県下JAグループの積極的な情報発信に努めている。

部門	氏名 (住所)	受賞理由
園芸	こまえ しげお 小前 茂雄 (琴浦町杉下)	<p>【経歴】</p> H27～H30 東伯西瓜生産部部長 R2～R5 琴浦西瓜生産部部長 H16～R5 東伯・琴浦白ネギ生産部役員 H30～ 琴浦町農業委員 H29～ 認定農業者協議会役員 R6～ " 花き・野菜部長 <p>【功績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東伯・琴浦西瓜生産部長（東伯：H27～H30、琴浦：R2～R5）、東伯・琴浦白ネギ生産部役員（H16～R5）を歴任され、その間栽培面積の拡大、目標販売金額の達成など、産地のリーダーとして生産者の先頭に立って琴浦町の農業振興並びに産地の育成・発展に尽力した。 また、長年にわたり農業委員（H30～現在）として地域農業者からの相談に応じて、農地のマッチングや遊休農地発生の防止・解消を進め、琴浦町農業の振興に尽力してきた。その世話強い性格から生産者はもとより地域の方々からも信頼が厚く、その業績は多大である。現在も、琴浦町農業者の中心的存在であり、今後も琴浦町の農業振興に欠かせない存在として活躍が囑望される。
園芸 農産	まえた のりお 前田 規雄 (八頭町上野)	<p>【経歴】</p> H27～R5 JA 鳥取いなば船岡支店白ねぎ生産部長 R元 JA 鳥取いなば白ねぎ生産出荷協議会 副会長 R2～R3 JA 鳥取いなば白ねぎ生産出荷協議会 会長 <p>【功績】</p> <ul style="list-style-type: none"> JA 鳥取いなば船岡支店白ねぎ生産部の部長時（H27～R5）には、出荷時毎回行っていた検査を廃止して抽出検査に変更することにより、生産部員の負担を軽減した。これにより、部員は白ねぎの栽培管理に時間をあてることができ生産量増加に繋がった。 令和4年に生産部の農業版BCPの策定を行い、一時的に農業ができない状況になっても生産部内で助け合って営農を継続できる仕組みを構築した。 JA 鳥取いなば白ねぎ生産出荷協議会の会長時（R2～R3）には、取引市場訪問や試食宣伝会など有利販売につながる活動や、ラジオ番組出演、広報誌によるJA鳥取いなばの白ねぎのPR活動を積極的に行った。さらに、市場と話し合いを行い、秀品基準を緩和させたことにより生産者の収益増加と調製作業の時間短縮を図った。

部門	氏名（住所）	受賞理由
園芸	むらおか まさみ 村岡 昌美 （北栄町東高尾）	<p>【経歴】</p> H12.8 有限会社 村岡オーガニック設立 H12～R5 代表取締役 R5.8～ 会長 <p>【功績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 花、野菜苗の生産販売、営利生産者向けの苗の委託生産を行っており、品質が高い商品を生産するのはもちろんのこと、顧客が実際に買って喜んでもらえる商品作りをすることを心がけている。野菜苗部門では現場への新たな品目による産地化の提案、花壇苗部門では自社オリジナルの品種育成を行い、独自の手法でもって経営規模の拡大・発展を図っている。 自社で育種したペチュニア新品種「マドンナの宝石」が平成22年に、日本一となるジャパンフラワーセレクション花壇苗部門「フラワー・オブ・ザ・イヤー」を受賞した翌年以降、着実に売上を伸ばしている。 自社の経営基盤を盤石なものとしつつ、先行投資も行い着実に規模拡大を続けてきており、地域の農業者が目指すべきビジネスモデルを確立した。 自社は2名の後継者（長男：佑基氏、次男：朋典氏）が現在経営の中心を担っており、今後益々の規模拡大も期待される。
園芸	やぶ せいどう 籾 正堂 （湯梨浜町北福）	<p>【経歴】</p> H22～R5 東郷果実部役員（総務班長） H26～R5 JA鳥取中央非常勤理事 <p>【功績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長年にわたり東郷果実部役員（H22～R5）に携わり、総務班長として果実部及び選果場の円滑な運営を牽引し、産地の維持発展に貢献した。JA退職後からの本格就農で、勉強熱心で意欲的に農業に取り組む姿は地域の模範であり、強い責任感と行動力、また世話強い人柄により、地域の方からの信頼が厚い。 果実部役員の役職としては総務班長を長きにわたって携わり、様々な運営多難も持前の経験を生かし、修正改善し円滑な運営を牽引してきた、縁の下の力持ち的な存在であった。そのことから地域農業振興並びに産地の育成・発展に尽力してきたと言える。また、JA鳥取中央湯梨浜地区非常勤理事（H26～R5）として、JA全体の運営や湯梨浜地区発展のために尽力された。